

# サンゴ礁ー豊かな生態系の恵み



▲海底に広がる美しいエダサンゴの林。陸上に例えると森のような豊かな生態系である。



▲礁斜面を一面のサンゴが覆い尽くす。



▲八重山では、このように発達したサンゴ礁が島の周囲を取り囲み、防波堤の役目を果たしている。



▲サンゴ礁の中で、アマモなどの海藻が茂る場所は藻場と呼ばれ、かつては草をはむジュゴンたちの姿も見られたという。



▲砂地の中に点在するサンゴの根は、魚たちのオアシスとなっている。



▲サンゴの枝の隙間は、魚などの生き物にとって絶好の隠れ場所である。

# サンゴ礁に棲む生き物たちーサンゴ礁の生物多様性



▲サンゴ礁に棲む魚の中には、他の魚の体に付いた寄生虫を食べるものもいる。オニイトマキエイも寄生虫を掃除してもらいにサンゴ礁にやってくる。

▼サンゴの上に棲むメガネゴンベ。



▲シャコガイは、八重山では「ギーラ」と呼ばれ重要な水産資源の一つ。刺身などにして食べる。

▼サンゴ礁は洞窟などの複雑な地形を形作り、いろいろな魚に住処を提供する。写真はハナミノカサゴ。

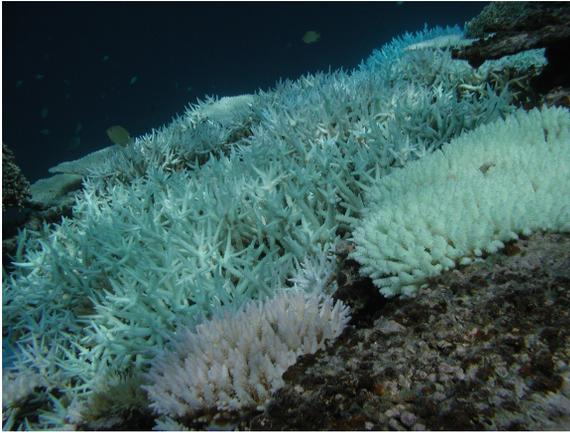


▲アオリイカはサンゴ礁の岩陰などに産卵する。

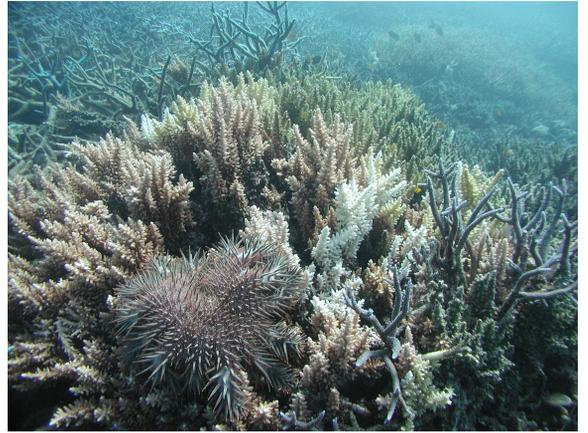


▲エビ・カニの間には、他の生物と共生したり擬態するものが多い。

# サンゴ礁の現状－危機に瀕するサンゴ礁生態系



▲1998年以降、高水温によるサンゴの白化が頻繁に見られるようになった。



▲オニヒトデによるサンゴの食害。



▲川から海に流れ込む赤土は、海を汚染する原因となる。



▲シルト(細かい泥)に被われると、サンゴは死んでしまう。



▲石垣市街地の近くには、生活排水が直接海に流れ込む場所も見られる。



▲ダメージを受けて回復の兆しが見られないサンゴ礁。このような場所へのサンゴの移植を検討している。(第4部第3章参照)